

## 第2回 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会会議録

日 時 平成22年3月29日 午後4時から午後5時50分  
場 所 ホテルプラザ菜の花 4階 中会議室(1) 楨

### 出席した委員

石渡徹男	東金市議会議長
氏原 強	千葉県病院局佐原病院事務局長
大矢吉明	九十九里町議会議長
河野陽一	千葉大学医学部附属病院長
近藤俊之	(社) 全国社会保険協会連合会顧問
佐野勇一	(株) ちばぎん総合研究所経営コンサル第一部長
田畑陽一郎	山武郡市医師会会長
戸谷久子	千葉県健康福祉部長
松永敏子	(社) 千葉県看護協会会長
水田宗子	城西国際大学理事長

### 欠席した委員

樋口幸一	公認会計士
------	-------

### 出席した関係者等

志賀直温	東金市長
川島伸也	九十九里町長
平澤博之	センター長
事務局	高田参事、本吉参事、高宮課長、太田主幹、鶴岡副課長、大池主査、古川主査、増田主査補

### 会議概要

前回欠席の委員あいさつ

委員長あいさつ

東金市長あいさつ

### 議事

- (1) 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター中期目標(案)について
- (2) その他

### 開会(午後4時)

司会 これより第2回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会を開催いたします。樋口委員は欠席、委員は遅れるとの通知をいただいております。その他の委員さんには出席いただいておりますので評価委員会共同設置規約第7条の規定により過半数の出席で評価委員会が成立しておりますことを報告します。

前回欠席であった委員よりあいさつをお願いします。

委員 東金九十九里地域医療センターは地域医療の面からも非常に重要であると認識しています。よろしくをお願いします。

司会 委員長よりあいさつをお願いいたします。

委員長 ご多用のところ出席ありがとうございます。今日は中期目標について議論をいたしますのでよろしくをお願いします。

司会 次に東金市長よりあいさつを申し上げます。

東金市長 評価委員会にお集まりいただきありがとうございます。東金九十九里地域医療センターは、県立東金病院の機能を引き継ぎ、山武地域医療再生を目指し、県と千葉

大の全面的な協力、特に県の大きな財政支援を前提に、山武地域全体での取組み、1市2町での取組みも断念された中で、県として全面的支援をするので進めてほしいとの思い、東金、九十九里だけでも進めていこうとする決意のなかですすめられてきたという背景があります。また、千葉県知事も同様の考えで支援するといっていると考えております。そのような中で進められている本計画は、地域住民として待ち望んでいるものであり、両首長とも千葉県、千葉大の力添えをいただき一刻も早く立ち上げたいと考えております。

本日は、中期目標案について審議願いたく提案申し上げました。このことは、6月議会に提案したいと思っております。引続き独立行政法人として定める中期計画の素案を後日提案しますのでよろしくお願い申し上げます。

司会 規約第7条第1項の規定に基づき委員長に議事進行をお願いします。

委員長 中期目標（案）について別紙1に基づき説明をお願いします。質問については、いくつかに分けて伺います。

事務局 中期目標を提案するプロローグについて触れさせていただきます。移行型地方独立行政法人では、中期目標は中期計画とセットで審議されますが、今般は中期目標について協議願いたいと思っております。新設型ですので、法のルールどおり進めさせていただきます。中期計画は今後改めて協議願いたく存じます。次回の会議では事務体制ができるので、その際に中期計画の原案を示させていただき、あわせてご協議願ひ中期目標を固めていきます。中期目標は、6月議会に提案し、独立行政法人を設立し、その後7月か8月になりますが、中期計画、業務方法書、役員報酬規定などご協議願ひ、中期計画、9月議会で承認いただく考えです。本日は、中期目標についてご協議をお願いします。

事務局 別紙1 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター中期目標（案）の内容説明。

委員長 まずここで中期目標を承認いただき、それを受けて計画をつくっていただくこととしたい。中期目標は、議会の議決が必要になります。

前文について意見、質問はありませんか。前文は、設立団体が、病院を設立する思い、趣旨が書かれているとご理解ください。重要な箇所です。

委員 医療センターのつくられる目的、方向性が示されたのが前文だと思っておりますが、この病院の目的は大きい。点ではなく面の医療を目指すことを申し上げたい。県全体としての役割も大きい。目指すところは狭い地域ではなくグローバルな地域医療を担うところがあっていい。東金市、九十九里町が担いますが、もっと大きいところを目指してよいのではないかと。名称ももっと大きくてよいと考える。将来を期待するところでもあり、前文にその考えを入れていただけたらと思っております。

委員長 前文のキーワードは、救命救急医療を行うこと。地域の医療機関連携をして中核病院として高度な医療を行うこと。グローバルな医療というところのような言葉を入れたいのでしょうか。

委員 例えば、今後医療センターが千葉県の中で更なる拡大・発展を持つことを基本理念とする、というような。

委員 「中核病院」の前に「千葉県の中核病院のひとつとして」はどうでしょうか。

委員 もっと大きいスタートであったのが、このかたちになりました。現時点では東金九十九里ということで、今後伸びることを示したいと考えます。

東金市長 名称は、現状で東金九十九里という言葉を使っていますが、将来的に考えていくということで理解いただければありがたいです。

委員 文言を入れるべきですか。

東金市長 現状として当面地域の中ということで出発しているので、将来的に大きくしてい

くことを考えたいです。

委員 「千葉県全域の中核病院のひとつ」と記述されたほうがわかりやすいと思います。将来果たす役割は大きいと思いますが。

センター長 置かれている立場また資金を出している市町の立場から、委員方がおっしゃったように書くのがおこがましいという考えからこのようにしました。今のところはこの表現にしようと思いました。市長からも話がありましたように名称もこれでファイナルではありません。

委員 前文の最後に開院までに行うべき業務運営に関する目標とありますが、まずここを考え、確実に進めるかどうかを考えられてはいかがかと思います。

委員 次の中期目標で理解することは可能と考えます。

委員 基本理念は重要であります。あまりにも地域に縛るのはいかがかと考えます。できればここでしっかりと基本理念を述べていただきたいと思います。

委員長 基本理念は「患者の権利を尊重し、救急医療、急性期医療を核とした地域中核病院として地域住民に信頼される高度で安全な医療を行う。」としており、地域という言葉は、地域中核病院の地域、地域住民の地域になります。「 」の前の「この医療センターは、」から「 」までは基本理念ではなく解説になっています。ですから、基本理念の、「 」の中を変えるのか、その前を変えるのかでかなり意味合いが違ってきます。「この医療センターは、千葉県全域における相互連携、中核病院として役割を担うこと」と入れても、それは基本理念の内容が変わるものではありません。前段が無く基本理念を最初から入れるとなると県にひとつの病院という内容になると思いますが。

委員 前段では、基本理念をどのように発現させるかの手段をその地域に限るのか、将来的には、県全体の中核病院として目指すのか。そしてこの基本理念を発現するのかというスタンスだと思います。ですから、活動の内容と密接に結びつくのではないのでしょうか。

委員長 先ほど委員が話された「地域における医療機関相互の連携に対する・・・」この地域というのは、医療圏その周辺ということで、千葉県全域の連携大意を確保するところまでは指しているものではありません。「救急以外の疾病に対しても中核病院としての役割、」この中核病院は、この地域だけではなく千葉県内における中核病院としての役割として入れるならば、委員のお話もここで包含されるものと考えます。「 」の中はこれで問題はないと思いますが、県の立場から委員いかがでしょうか。

委員 委員のお話で、そこまで入れ込もうということであるなら、「 」の中に入れて、さらには千葉県全域の医療中核機能を果たすということまで入れると、将来ビジョンが出ると思いますが、そうすると前段が少し細かくなりますので、「 」と枕とのバランスが悪くなると思います。あわせ技のようになりますけれど、中核病院のまえに地域のみでなく千葉県全体としての拠点機能を果たすというところまで入れればよいのではないかと思います。

委員長 「 」はそのままにして、「 」の前のところに地域外の中核的な病院をと理解したのですが、いかがでしょうか。

事務局 基本理念の「 」は事業計画の中で定まったものです。千葉県内における等の文言は「 」以外でお願いしたいと思います。

委員長 千葉県における中核病院としての役割という表現を加入することとしたい。前文はこれで了承いただけますでしょうか。

(了 承)

委員長 第1について中期目標期間は4年で、開院するまでの期間ですがこれでよろしいでしょうか。

(了 承)

委員長 第2についてはどういう医療を提供するかということで、1つずつ分けて考えていきたいとおもいます。

1. 医療センターの医療機能について意見がありますか。

委員 ここはあまり数値が載っていません。数値が載っていないほうがよいと思います。数字をどう扱うかは難しい。しかし、反面わかりづらいと思います。まずこの形式でよろしいのでしょうか。

委員長 中期目標なので抽象的になります。中期計画で数値が掲げられ具体的になってきます。

委員 大学では、目標数値を上げさせられ、それが縛りになっています。

委員長 病院が出来上がったところでは、診療単価はいくらに、病床稼働率はどういう目標も出るかと思いますが、今はこれでよいと思います。平成26年4月1日に開院できるようにしなさいというのが最大の目標になります。毎年計画は変更していくものです。

委員 事務局に確認します。医療機能についてですが、病院の目指す目標なのか、開院までに目指す目標なのかどちらですか。

事務局 中期目標は3～5年の目標値になります。定性的な目標で置かれているもので、わかりづらいのは病院を経営していないことにあります。経営するための体制を整えるうえでの定性的な縛りをかけていくものになります。具体的には独立行政法人が中期計画で数値を示します。

委員 細かいことを書くより、目標ですのでこのレベルがよいと思います。

「千葉大学医学部との密接な関係」とは何か伺います。

委員 千葉大学附属病院研修システムとの兼合いと理解します。

事務局 この4年間に建物をつくる。人を集める。建物諸室をつくるのに大学の知恵をいただいて設計します。その後に医師、看護師を集めるにもノウハウをいただきます。

委員長 医療機能について了承いただけますか。

(了 承)

委員長 2. 施設整備について意見はございませんか。

委員 研修・教育機能に配慮した施設とするとありますが、配慮したという標記では弱くはないでしょうか。

事務局 迎える先生方を考えた諸室を考えますと同時に研修機能、物理的配置を配慮することになります。配慮する場面が幅広いという意味でこのように記述されております。

委員長 研究教育施設の機能に対応した施設とすることとされていますがいかがでしょうか。

3. 設備整備について意見はございませんか。

具体的には、磁気共鳴診断装置やコンピューター断層撮影装置等が掲げられています。

委員 設備整備にも研修、教育機能を盛り込まれてはいかがでしょうか。看護教育に関してもシミュレーションを用いた実習施設となるべきでしょうか。

委員長 実習施設としては何が必要でしょうか。

委員 臨床研修センター、教育スペース、場についてスペースはどのようになるのでしょうか。

センター長 現在プロポーザル方式で基本設計業者を選定しています。その臨床教育センターとして機能を果たすスペースを確保しています。千葉大学にあるような看護教育に用いるシミュレーションセンターは全国の看護師を対象にしたものであり、本医療

センターでそこまで設置するのは難しいと思います。

委員 教育センターは確実にできます。そのスペース等を具体的に決めていただきたいと思うのでよろしくをお願いします。

委員 設備だけでよいのですか。

委員長 スペースがあることが重要。まず場所を確保すると理解しましたがいかがですか。

委員 信頼性、安全性を確保した施設、設備が求められます。ここにも研修、教育機能へ対応した設備を設けることを記述していただきたいと思います。

委員長 4. 医療センター人材確保について意見等はございますか。

委員 この部分はある程度手段が記述されています。なぜ細かくしたのですか。

事務局 この計画は、医師、看護師確保は大きな要素です。事業計画策定時には臨床教育センターの件はまだ決まっていなかったのでここで書きました。看護師も7：1に焦点をあてて、大きな課題として具体的に書き込みました。

委員 医療センター成功のポイントは、医師、看護師、資金になります。(2)も同様です。

委員 城西国際大学は、看護師確保のため学部を開設します。城西国際大学の記述を考慮していただきたい。

東金市長 具体的に医師確保、看護師確保ができるのかというところが懸念材料になっています。まだ計画書ではご承認いただく前でしたので、書き方を検討させていただきたい。

委員 記述をお願いしたいです。

委員 城西国際大学の看護学部の新設プラス千葉大学の利用で、身近にスキルアップできる条件が揃っている、ということを目玉に看護師確保に繋げていただきたい。

委員 全体の強弱がよくわからない。これだけは最優先になること、例えば千葉大学との連携であるならばそのことを記述したほうが良いのではないのでしょうか。(2)教育研修の体制 システムとは何ですか。

事務局 病院は平成26年4月オープンですが、まず医師、看護師を確保し、いろいろなところに研修に行ってスムーズな開院を目指します。稼動している病院との連携システムとして表現しました。

委員 さんむ医療センターの看護師確保について裏づけとして資金はどうですか。

委員 私が理解するのは、看護師確保は根幹となります。学生への支援をお願いします。この地域に学生は来ません。看護師を目指す学生が来なければ、また地域に留まらなければ困ります。全国で看護学部ができていますので、就職先との連携は不可欠です。

東金市長 地方独立行政法人として奨学金制度を考えます。

委員長 医師については、千葉大学と連携してやっていただきたい。看護師については、7：1看護基準を確保できるようにやっていただきたい。開院するまでの4年間に、先に看護師確保の施策に入れるかどうかということになります。事務局で検討しなければなりません。24年度に開設される看護学部の生徒を28年度以降の安定的人材確保つなげる何らかの対応をすることを加筆いただきたいです。

委員 看護師のすばらしさを訴えて開学します。新しい事業として、看護学部を設立するうえで十分約束をお願いします。人材育成には時間がかかります。共同で病院をつくる作業になります。

委員 委員のお話はよくわかります。この文言を入れて理解願いたいです。

委員長 事務局で協議をしていただき4年間で何らかのことをやるべきかを表現願いたい次回に諮ります。

委員 第2の「千葉大学医学部・千葉大学医学部附属病院との密接な関係」のところ

床教育センターの件を記入するのはどうでしょうか。(1)人材の確保内については臨床教育センターについては入れなくてもよいですし、看護学部のことがかかるようなニュアンスを入れることもいいですし、ただ固有名詞を入れることで縛りになってしまうのであれば、あえて入れなくてもよいと思います。

委員 前回の評価委員会で発言し返事もいただいています。曖昧にしないでお願いしたいと思います。

委員長 4年間に看護学部ができるとなれば、独立行政法人が奨学金制度をつくる等の目標を記述することを検討していただきたい。

事務局 地方独立行政法人の7月成立を目標にしています。看護学部の設置をお願いしています。奨学金制度をつくるのは地方独立行政法人で、地方独立行政法人の計画に記述していく形になります。

委員 周辺の医療機関の看護師が引き抜かれてはなりません。地域の医療機関との関係について留意事項を加えていただきたいと思います。

委員長 5. 地域医療機関との連携等に医師会を加入してほしい。また、医療機関に「等」を加えれば看護師についての連携も含まれることになります。

事務局 連携するのみでなく協議する部分もあるだろうということで「等」という文言を記述しております。

事務局 補足になりますが、地域公立病院等とは、民間病院も含まれます。

委員長 医師会を加えることは了承します。項目の「連携等」の「等」はとります。

第3について意見はありますか。

(内容確認・意見特になし)

第4について意見はありますか。

委員 「経費削減」ではなく、「価格コストの妥当性に留意する。」が適当と思います。

委員長 第5の125. 71億円とはどこまでなのですか。

事務局 事業計画書にある病院開院までの想定額になります。

委員長 事務局から本日の確認をしてください。

事務局 別紙1

1頁 前文:「地域における」を「千葉県における」に置き換える。

2頁 千葉大学医学部・同附属病院との密接な関係:平澤先生と協議のうえ委員長に協議する。

2頁 施設整備:研修教育の「配慮」を「対応した」、もしくは「果たす」に置き換える。また、設備関係についても同様の趣旨の文言を追加する。

3頁 人材確保:看護学部、看護師要請等のことも踏まえ文言を検討する。

3頁 地域の医療機関との連携等:見出しの「等」を削除し、本文中に「医師会」を追加する。「地域の医療資源の最適化」という記述を再精査する。

4頁 支出の適正化:「経費削減」を「価格コストの妥当性」に置き換える。

委員長 以上修正すべき点を踏まえて中期目標を示してください。本日はこれで終了します。次回は中期目標を決定し、これを受けた中期計画をつくります。開催予定は、5月の連休明けくらいでしょうか。

事務局 今回の中期目標の整理と中期計画をお願いしますが、6月議会に提案したいので、5月中旬にまとめたいと思います。

委員長 次回は、連休明けの5月14日金曜日午後4時30分から千葉市内の会場で開催したいと思います。

閉会(午後5時50分)